

ドジョウ増殖試験

担当者技師 青山 禎夫

I 調査目的

抽出ホルモン剤を用いてドジョウの人工採卵試験を行い種苗生産の指針とする。

II 試験内容

(1) 場所

本場

(2) 調査期間

昭和42年5月～全42年8月

(3) 試験項目および方法

(1) 試験項目

- 人工採卵
- 仔魚の飼育

(2) 試験方法

人工採卵にはゴナドロピンを♀の腹腔内に注射する方法を行い、仔魚の飼育には卵黄、ミンコ、ミミズを与えた。

III 試験結果

第1表

Gonotropinによる採卵('67)

ホルモン名 注射単位	T・L	B・W	注射月日 時間・水温	採卵月日 時間・水温	採卵 可否	採卵数
♀ドジョウ 1尾につき Gonotropin 100U	14.2	18.5	MAY 23 '67 17時00分 22.5℃	MAY 24 '67 09時30分 22.0℃	○	
	14.8	19.9			○	
	15.7	23.2			○	3,110粒
	17.5	30.6			○	3,880
	15.5	19.4	JUN 20 17:00 24.0℃	JUN 21 09:00 20.8℃	○	
	15.4	19.3			○	
	15.3	19.4	JULY 11 17:00 21.8℃	JULY 12 10:00 22.2℃	○	
	16.0	23.0			○	
	13.2	13.5	AUG 15 17:00 25.8℃	AUG 17 10:00 25.0℃	×	
	14.1	14.3			○	
Control	14.6	19.1	MAY 23		×	
	15.1	13.1	AUG 15		×	

第2表

人工種苗の生長 ('67)

採卵月日	フ化月日	投餌開始	生長経過	
			July 11 '67	Aug 30 '67
'67 May 24 親ドジョウ T・L 17.5 cm	May 26	May 30 卵黄 その後 ミジンコ・ミミズ	T・L 0.9~2.6 cm (平均 1.95 cm)	T・L 4.5~7.0 cm (平均 5.95 cm) B・W 0.7~1.5 g (平均 1.1 g)

∴ Oct 13 '67 平均全長 7.41 cm (平均体重 2.08 g)

第1表のとおりゴナトロピンを♀1尾につき100単位注射すれば、ほぼ例外なく採卵出来る。
人工種苗の生長は第2表に示すとおり5ヶ月で約7cm程に生長する。

IV 考察

抽出ホルモンによる人工採苗は比較的容易であるが、孵化稚魚の歩留りを最大にするための方法を検討することが今後の課題である。

註 「ドジョウ養殖に関する基礎試験・1967.11・青森県水産試験場」参照のこと。